



# 平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月3日

上場会社名 株式会社 ヤマダコーポレーション  
 コード番号 6392 URL <http://www.yamadacorp.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 昌太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 村瀬 博樹

TEL 03-3777-5101

四半期報告書提出予定日 平成30年8月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	2,782	10.6	481	47.6	505	51.1	355	65.6
30年3月期第1四半期	2,515	21.0	326	183.1	334	258.9	214	231.4

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 371百万円 (31.3%) 30年3月期第1四半期 282百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	148.38	
30年3月期第1四半期	89.61	

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	11,856	8,895	72.8
30年3月期	11,820	8,628	70.8

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 8,633百万円 30年3月期 8,365百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		6.50		42.50	
31年3月期					
31年3月期(予想)		32.50		42.50	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合後の金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。株式併合後の基準で換算した平成30年3月期の1株当たり年間配当金は75円00銭となります。

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,100	1.9	800	8.9	800	8.5	550	12.6	229.72
通期	10,200	1.1	1,300	11.9	1,300	17.1	900	22.6	375.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	2,400,000 株	30年3月期	2,400,000 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	5,769 株	30年3月期	5,769 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	2,394,231 株	30年3月期1Q	2,394,382 株

(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済の動向は、米国においては、設備投資などは好調に維持し、併せてやや伸びは鈍化しているものの、個人消費等に支えられ、引き続き成長は加速傾向にありました。欧州においては、個人消費の伸びは加速したものの、固定資本投資の伸びの鈍化や輸出の減少等により、景気拡大のペースはやや穏やかなものとなりました。また、中国をはじめとした新興国経済では、輸出が世界経済拡大を背景に好調で、個人消費やインフラ投資の伸びの鈍化等、やや陰りが見え始めてはいるものの、依然として好調を維持しました。

一方、日本経済においては、生産は増加基調が続いており、設備投資も高水準の企業収益を背景に堅調に推移し、緩やかに回復しております。

こうした中、当社グループにおいては、オートモティブ部門では、ルブリケーターが引き続き堅調に推移し、また、インダストリアル部門でも、主力製品であるダイアフラムポンプを中心に引き続き増加傾向にあり、好調な推移となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は2,782百万円（前年同期比267百万円、10.6%増）となりました。売上高を部門別にみますと、オートモティブ部門は735百万円（前年同期比10百万円、1.5%増）、インダストリアル部門は1,706百万円（前年同期比230百万円、15.6%増）となり、上記部門に属さないサービス部品や修理売上などのその他の部門の売上高は340百万円（前年同期比26百万円、8.3%増）となりました。

利益面では、売上総利益は1,224百万円（前年同期比206百万円、20.3%増）となり、営業利益は481百万円（前年同期比155百万円、47.6%増）、経常利益は505百万円（前年同期比171百万円、51.1%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は355百万円（前年同期比140百万円、65.6%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は次のとおりであります。

日本における外部顧客に対する売上高は1,398百万円（前年同期比47百万円、3.5%増）、営業利益は331百万円（前年同期比11百万円、3.7%増）となりました。米国における外部顧客に対する売上高は879百万円（前年同期比128百万円、17.2%増）、営業利益は126百万円（前年同期比34百万円、37.9%増）となりました。オランダにおける外部顧客に対する売上高は268百万円（前年同期比12百万円、5.1%増）、営業利益は5百万円（前年同期比△5百万円、48.9%減）となりました。中国における外部顧客に対する売上高は160百万円（前年同期比39百万円、32.9%増）、営業利益は14百万円（前年同期比6百万円、83.8%増）となりました。タイにおける外部顧客に対する売上高は75百万円（前年同期比37百万円、101.1%増）、営業利益は4百万円（前年同期は営業損失6百万円）となりました。

また、当第1四半期連結累計期間の連結売上高に占める海外売上高は1,496百万円（前年同期比212百万円、16.5%増）で、その割合は53.8%（前年同期51.1%、2.7%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は11,856百万円となり、前連結会計年度末に比べ35百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加（70百万円）、仕掛品の増加（45百万円）、受取手形及び売掛金の減少（90百万円）等によるものであります。

負債合計は2,960百万円となり、前連結会計年度末に比べ231百万円の減少となりました。これは主に未払法人税等の減少（207百万円）等によるものであります。

純資産合計は8,895百万円となり、前連結会計年度末に比べ267百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加（253百万円）等によるものであります。

この結果、自己資本比率は72.8%となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は3,628百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円の増加となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは222百万円の純収入（前年同期は300百万円の純収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益513百万円等の収入要因があったものの、法人税等の支払額336百万円等の支出要因があったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは73百万円の純支出（前年同期は18百万円の純支出）となりました。これは主に定期預金の預入による50百万円、有形固定資産の取得による37百万円等の支出要因があったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは131百万円の純支出（前年同期は102百万円の純支出）となりました。これは主に長期借入金の返済による36百万円、配当金の支払による92百万円等の支出要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第1四半期において、為替環境が当初予想よりも円安で推移したこと、また、当社の主力製品でありますダイアフラムポンプを中心に、売上が計画に比べ好調に推移したこと、更に売上原価率が当初予想よりも低く抑えられたこと等により、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに予想を上回る見込みとなりましたので、第2四半期連結累計期間の業績予想を修正いたしました。また、通期の連結業績予想につきましても、第2四半期連結累計期間の業績修正に伴い修正いたしました。

詳細につきましては、本日(平成30年8月3日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,639,469	3,709,540
受取手形及び売掛金	1,870,985	1,780,336
商品及び製品	1,533,135	1,564,751
仕掛品	353,131	398,460
原材料及び貯蔵品	544,856	537,936
その他	105,331	135,739
貸倒引当金	△4,992	△3,882
流動資産合計	8,041,915	8,122,882
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,417,048	1,412,907
土地	1,188,767	1,189,432
その他（純額）	421,332	418,464
有形固定資産合計	3,027,148	3,020,803
無形固定資産	61,876	59,652
投資その他の資産	689,929	653,177
固定資産合計	3,778,955	3,733,634
資産合計	11,820,870	11,856,516
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,362,472	1,419,943
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	325,840	298,348
未払法人税等	306,089	98,423
賞与引当金	146,087	49,276
未払費用	164,126	179,870
その他	102,316	141,533
流動負債合計	2,506,931	2,287,395
固定負債		
長期借入金	33,809	24,668
繰延税金負債	196,757	198,452
退職給付に係る負債	310,999	307,758
役員退職慰労引当金	43,099	43,499
資産除去債務	20,628	20,628
長期未払金	32,270	32,270
その他	48,027	46,138
固定負債合計	685,591	673,415
負債合計	3,192,522	2,960,810

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	600,000	600,000
資本剰余金	58,187	58,187
利益剰余金	7,535,040	7,788,533
自己株式	△6,797	△6,797
株主資本合計	8,186,430	8,439,923
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	149,595	138,557
為替換算調整勘定	29,025	55,197
その他の包括利益累計額合計	178,620	193,755
非支配株主持分	263,297	262,028
純資産合計	8,628,348	8,895,706
負債純資産合計	11,820,870	11,856,516

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	2,515,101	2,782,171
売上原価	1,497,039	1,557,781
売上総利益	1,018,062	1,224,389
販売費及び一般管理費	691,977	743,049
営業利益	326,084	481,340
営業外収益		
受取利息	414	162
受取配当金	7,737	8,864
負ののれん償却額	1,222	1,222
為替差益	—	8,234
不動産賃貸料	8,127	7,927
その他	1,971	3,511
営業外収益合計	19,473	29,924
営業外費用		
支払利息	672	502
売上割引	4,003	3,799
為替差損	3,547	—
その他	2,517	1,079
営業外費用合計	10,740	5,382
経常利益	334,818	505,882
特別利益		
固定資産売却益	—	566
投資有価証券売却益	—	7,553
特別利益合計	—	8,119
特別損失		
固定資産処分損	95	11
特別損失合計	95	11
税金等調整前四半期純利益	334,722	513,991
法人税、住民税及び事業税	121,392	130,019
法人税等調整額	△4,887	27,975
法人税等合計	116,505	157,994
四半期純利益	218,217	355,996
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,655	749
親会社株主に帰属する四半期純利益	214,562	355,247



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	218,217	355,996
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,372	△11,037
為替換算調整勘定	41,157	26,172
その他の包括利益合計	64,530	15,135
四半期包括利益	282,747	371,131
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	279,092	370,382
非支配株主に係る四半期包括利益	3,655	749

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	334,722	513,991
減価償却費	57,167	49,978
負ののれん償却額	△1,222	△1,222
固定資産売却損益(△は益)	95	△555
受取利息及び受取配当金	△8,152	△9,027
支払利息	672	502
売上債権の増減額(△は増加)	57,665	98,472
たな卸資産の増減額(△は増加)	△71,810	△51,544
仕入債務の増減額(△は減少)	138,765	50,282
その他	△95,724	△100,742
小計	412,179	550,136
利息及び配当金の受取額	8,152	9,027
利息の支払額	△676	△507
法人税等の支払額	△119,112	△336,489
営業活動によるキャッシュ・フロー	300,542	222,166
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△500	△50,501
定期預金の払戻による収入	500	500
有形固定資産の取得による支出	△20,646	△37,444
有形固定資産の売却による収入	—	566
投資有価証券の取得による支出	△859	△811
投資有価証券の売却による収入	—	8,924
投資不動産の賃貸による収入	8,127	7,927
その他	△5,284	△2,528
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,663	△73,367
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	80,000	55,000
短期借入金の返済による支出	△63,076	△55,000
長期借入金の返済による支出	△36,633	△36,633
配当金の支払額	△79,947	△92,041
非支配株主への配当金の支払額	△2,018	△2,018
その他	△690	△679
財務活動によるキャッシュ・フロー	△102,366	△131,372
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,719	2,644
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	191,232	20,071
現金及び現金同等物の期首残高	2,824,961	3,608,740
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,016,194	3,628,811

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	日本	米国	オランダ	中国	タイ	
売上高						
外部顧客への売上高	1,351,158	750,284	255,659	120,520	37,477	2,515,101
セグメント間の内部売上高又は振替高	714,727	22,603	2,940	—	—	740,271
計	2,065,885	772,888	258,600	120,520	37,477	3,255,373
営業費用	1,746,673	681,129	247,141	112,580	43,823	2,831,349
セグメント利益又は損失(△)	319,211	91,758	11,458	7,940	△6,345	424,023

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	424,023
セグメント間取引消去	11,855
棚卸資産の調整額	△109,793
四半期連結損益計算書の営業利益	326,084

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	日本	米国	オランダ	中国	タイ	
売上高						
外部顧客への売上高	1,398,668	879,244	268,657	160,230	75,371	2,782,171
セグメント間の内部売上高又は振替高	728,498	30,192	5,377	3,813	—	767,882
計	2,127,166	909,437	274,034	164,043	75,371	3,550,053
営業費用	1,796,159	782,895	268,180	149,451	70,642	3,067,330
セグメント利益	331,006	126,542	5,853	14,591	4,728	482,722

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	482,722
セグメント間取引消去	3,281
棚卸資産の調整額	△4,663
四半期連結損益計算書の営業利益	481,340